
ファンタジー？

デイズ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ファンタジー？

【Nコード】
N0876K

【作者名】
デイズ

【あらすじ】
どこかで何かが戦っていた。

（前書き）

適当に書いたものです。適当に読んでください。

——準備は整った。これで、この戦いは終わりだ。ジュン全てを終わらせるそのボタンにてをのばしたとき——

「そうはさせない！」

その声と同時に扉が開いた。そこにはケンの姿があった。

「フフフ……もう遅い。準備は整った」

ケンは、真剣な表情でいった。

「……何の事だ」

ジュンは呆気にとられていた。彼はなぜここに来たたのか。

「まあいい。この聖剣エクスカリヴァーで裁きを下してくれる！」

ジュンが事を理解する前にケンは飛び掛ってきた。彼も剣を抜いて飛び掛った。剣と剣が激しくぶつかり合い火花を散らす。

「なかなかやるな」

「そつちだつて」

剣をはじき後ろに飛びのき、再びきりかかった。

そこから激しい戦いになった。剣をはじきあい、隙を見つけては剣を突き出す。それをはじき返し反撃に持ち込む——こんな戦いが数10分、いや数時間続いた。疲れたので後ろに跳んで間合いを取ろうとした——が、ケンが足を滑らせ、エクスカリヴァーが胸に刺さった。

「……！？」

「そ………そんな！？」

ケンは言った。

「お前は………お前は誰なんだ……」

その言葉を最後にケンは息絶えた。

「そつえば、こいつ誰だ……」

そして全ては終わった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0876k/>

ファンタジー？

2010年12月10日07時00分発行